○「微生物農薬の登録申請において提出すべき資料について」（令和6年4月1日付け5消安第7650号農林水産省消費・安全局長通知）
 一部改正案 新旧対照表

（下線の部分は改正部分）

改正後				現行			
1～3（略）				1～3（略）			
別紙1 提出すべき資料の項目及び提出すべき条件				別紙1 提出すべき資料の項目及び提出すべき条件			
要求項目	提出の要否		条件付き要求（△） の内容等	要求項目	提出の要否		条件付き要求（△） の内容等
	微生物の種類				微生物の種類		
	ウイルス	その他の微生物			ウイルス	その他の微生物	
（略）				（略）			
1～4（略）				1～4（略）			
5 人及び家畜（蜜蜂を除く。）に対する影響に関する試験成績等 （図1参照）				5 人及び家畜（蜜蜂を除く。）に対する影響に関する試験成績等 （図1参照）			
（1）～（7）（略）				（1）～（7）（略）			
（8）細胞培養	<u>△</u>	×	有効成分がバキュ ロウイルス又はバ クテリオファージ ではない場合は提 出を要する。	（8）細胞培養	○	×	
（9）～（16）（略）				（9）～（16）（略）			

<p>【上記5の試験成績の提出を要しない場合】（略）</p>	<p>【上記5の試験成績の提出を要しない場合】（略）</p>
<p>6～9（略）</p>	<p>6～9（略）</p>
<p>（別紙1別添）（略）</p>	<p>（別紙1別添）（略）</p>
<p>別紙2 提出すべき資料の作成要領</p> <p>I 微生物農薬及び農薬原体の組成等</p> <p>1 微生物の生物学的情報</p> <p>（1）（略）</p> <p>（2）報告事項</p> <p>微生物農薬の製造に用いる有効成分である微生物について、次の①から③までに示す情報を報告する。文献、書籍等を引用した場合は引用元を明らかにし、必要に応じて該当資料を添付する。<u>また、バクテリオファージを有効成分とする、農薬原体及び微生物農薬を製造する際に、有効成分である微生物以外の微生物を使用する場合には、当該微生物に関する情報についても同様に報告する。</u></p> <p>①～③（略）</p> <p>2・3（略）</p> <p>II～IX（略）</p> <p>（別紙2別添）（略）</p> <p>別紙3 用語の定義</p> <p>本通知で用いる用語の定義は以下のとおりとする。</p>	<p>別紙2 提出すべき資料の作成要領</p> <p>I 微生物農薬及び農薬原体の組成等</p> <p>1 微生物の生物学的情報</p> <p>（1）（略）</p> <p>（2）報告事項</p> <p>微生物農薬の製造に用いる有効成分である微生物について、次の①から③までに示す情報を報告する。文献、書籍等を引用した場合は引用元を明らかにし、必要に応じて該当資料を添付する。</p> <p>①～③（略）</p> <p>2・3（略）</p> <p>II～IX（略）</p> <p>（別紙2別添）（略）</p> <p>別紙3 用語の定義</p> <p>本通知で用いる用語の定義は以下のとおりとする。</p>

<p>感染性～二次代謝物 （略）</p> <p><u>バキュロウイルス</u>：バキュロウイルス科に属し、筒状のヌクレオカプシド及び環状の二本鎖 DNA ゲノムを持つウイルスであって、昆虫に特異的に感染するものをいう。</p> <p><u>バクテリオファージ</u>：細菌に特異的に感染するウイルスをいう。</p> <p>病原性・元種 （略）</p> <p>図1・図2 （略）</p>	<p>感染性～二次代謝物 （略）</p> <p>（新設）</p> <p>（新設）</p> <p>病原性・元種 （略）</p> <p>図1・図2 （略）</p>
--	---